## WALL PANEL FOR BATHROOM

Publication number: JP2001227100 **Publication date:** 2001-08-24

Inventor:

FUKUMOTO HACHIRO Applicant: SEKISUI CHEMICAL CO LTD

Classification: - international:

E04F13/08; E04C2/28; E04C2/30; E04F13/08;

E04C2/26; E04C2/30; (IPC1-7): E04C2/28; E04C2/30; E04F13/08

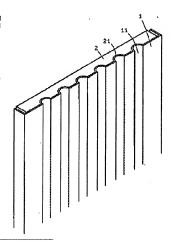
- European:

Application number: JP20000039823 20000217 Priority number(s): JP20000039823 20000217

Report a data error here

### Abstract of JP2001227100

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a wall panel for a bathroom in which a gypsum board is firmly adhered to a back side of a synthetic resin covered steel sheet with decorative recessed grooves formed in a face side thereof, and condensation on the back side of the steel sheet can be prevented, SOLUTION: The recessed grooves drawn in the surface of the gypsum board 2 are fitted on the back side of the decorative recessed grooves 11 curvedly formed in the surface of the synthetic resin covered steel sheet 1, and the steel sheet 1 is adhered to the gypsum board 2.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

### (19)日本回特許庁 (JP)

# 四公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2001-227100 (P2001-227100A)

(43)公開日 平成13年8月24日(2001.8.24)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>		識別記号	ΡI		· ·	~73~}*(参考)
E 0 4 C	2/28		E04C	2/28		2E110
	2/30			2/30	С	2 E 1 6 2
E04F	13/08		E04F	13/08	E	

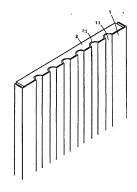
窓内請求 未請求 請求項の数2 ○L (全3 百)

	審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 3 員)
特爾2000-39823(P2000-39823)	(71)出票人 000002174 粒水化学工業株式会社
平成12年2月17日(2000.2.17)	大阪府大阪市北区西天湖2丁目4番4号
	(72)発明者 福本 八郎
	奈良市三条大路4-1-1 積水化学工業
	株式会社内
	Fターム(参考) 2E110 AA14 AB04 AB42 BA02 BB22
	GB01W GB16X GB42W
•	2E162 CA16 CB02 EA18

## (54) 【発明の名称】 裕室用壁パネル

## (57)【要約】

「課題】表面に化粧四溝を曲成した合成樹脂被理鋼板の 裏面に石膏ボードが強固に接着され、横板裏面の結路を 防止することが出来る浴室用型パネルを提供する 「解決手段」合成樹脂被運動が1の表面に曲成された化 粧四端110裏面に、石膏ボード2の表面に枚り込み成形 により刻販された四端21が嵌合され、鋼板1と石膏ボー ド2とが接着されている。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂被覆鋼板の表面に曲成された化 粧凹溝の裏面に、石膏ボードの表面に数り込み成形によ り刻設された凹溝が嵌合され、鋼板と石膏ボードとが接 着されていることを特徴とする浴室用壁パネル。

【前求項2】 合成樹脂被預頻の表面に曲成された化 粧凹湯の裏面に、石膏ボードの表面に切削により刺設さ れた凹湯が接合され、頻板と石膏ボードとが接着され、 石膏ボードの裏面に別の一枚板状の石膏ボードが接着さ れていることを特徴とする浴室用壁パネル、

## 【発明の詳細な説明】

【0001】 【発明の風する技術分野】本発明は、浴室用壁パネルに

関する。

### [0002]

【従来の技術】従来、合成樹脂被覆鋼板の裏面に一枚板 状の石膏ボードを接着して補強した浴室用壁パネルは公 知である。

### [0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしてがら、装飾性 を高める為に、被羽目の目地を横して化飽四港を表面に 曲成したを成態階被深調版に、一枚板状の石膏ボードを 接着した場合には、両者の接触面積が小さくなる為に剥 離し易く、又、銀板の石膏ボードとの離隔部の裏面に結 盤を生じるおそれがある。

【0004】本発明は、上記従来の問題点を解消し、表面に化粧凹溝を曲成した合成樹脂被環網板の裏面に石膏ボードが強固に接着され、鋼板裏面の結選を防止することが出来る浴室用盤パネルを提供することを目的とする。

### [0005]

【課題を解決するための手段】請求項1の発明の浴室用 壁パネルは、合成樹脂被覆頭板の表面に曲成された化粧 凹溝の裏面に、石膏ボードの表面に終り込み成形により 対設された凹溝が嵌合され、頻板と石膏ボードとが接着 されていることを特徴とする。

[0006] 請求項2の発明の浴室用壁パネルは、合成 樹脂被預頻板の表面に曲成された化粧凹溝の裏面に、石 膏ボードの表面に切解により負製された凹端が接合され、鋼板と石膏ボードとが接着され、石膏ボードの裏面 に別の一枚板状の石膏ボードが接着されていることを特 強とする。

【0007】請求項1及び2の発明の浴室用壁バネルに 於いて、合成樹脂被猩猩板の表面に曲成された化粧凹溝 の形状及び深さは、特に限定されないが、加工性の面か ら断面略半円形状で深さ3~5mとなされるのが一般的 である。

【0008】請求項1及び2の発明の浴室用壁バネルに 於いて、石膏ボードは、焼石膏に木粉、パーライト等の 軽量材を約10%混入し、両面に厚紙を貼付して焼石膏の 吸水硬化作用を利用して成板したものを意味する。 焼石 膏にシリカ、アルミナを主成分とする粘土を配合し、 敬 編和、を形成させてたものは、 吸湿性を有するのでより好 ましい、

【0009】石膏村一ドの表面に投り込み成形により化粧田清を負限する場合には、四溝部分が圧縮されて海敷 効果を寄することになるが、切削による場合には、石膏ボードの両面に貼付されて強度を主として受持している。 現底の一方が総分的に訴念されて強度を主として受持している。 改成の低下を補う為に、切削により化粧四清が刻配された石膏ボードの表面に更に別の一枚板状の石膏ボードが

#### [0010]

【発明の実施の形態】以下本発明の浴室用壁パネルの実 施例を図面に基いて説明する。図1は請求項1の発明の 浴室用壁パネルの1例を示す斜視図、図2は請求項2の 発明の浴室用壁パネルの1例を示す斜視図である。

【0011】図1に示されている請求項1の発明の浴室 用壁パネルに於いて、1は合成樹脂被猩猩原であって、 合成樹脂後猩娟板1の両端は裏面側に直角に折曲されて おり、表面には断面略半円形状の化粧凹溝11が等間隔に 曲成されている。

【0012】合成樹脂被震網板1の化粧凹沸11の裏面には、石膏ボード2の表面に数り込み成形により等間隔に 刻設された断面略半円形状の凹溝21が嵌合されており、 石膏ボード2の表面に塗布された接着剤により、鋼板1 と石膏ボード2とが接着されている。

[0013] 図2に示されている請求項2の発明の浴室 用盤パネルに於いては、合成動筋被関類数1の断面略等 円形状の化粧凹消1の裏面は、石膏ボード2の表面に切 所により刺訟された断面等矩形状の凹部はが嵌合されて 切り、石膏ボード2の表面に動きされた繋膏剤により、 類板1と石膏ボード2とが接着されている。類板1の裏 面に接続された石膏ボード2の項面には、更に別の一枚 板状の石膏ボード3が接着されている。

## [0014]

【0015】請求項2の発明の浴室用壁パネルは、叙上 の画り構成されているので、表面に化粧凹溝を曲成した 合成樹脂被発鱗板の裏面に石膏ボードが強固に接着され、類板裏面の結路を防止することが出来る。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】請求項1の発明の浴室用壁パネルの1例を示す 斜視図。

【図2】請求項2の発明の浴室用壁パネルの1例を示す 斜視図。

### 【符号の説明】

- 1 合成樹脂被覆鋼板
- 2 石膏ボード
- 3 (一枚板状の)石膏ボード

- 11 化粧凹溝
- 21 凹溝

【図1】

[図2]

